

第11節



第2節名古屋戦・3月14日(H)
△0-0 待望のホーム開幕戦は雪中の激戦。強力攻撃陣を無得点に抑える好守が光る。



第3節F東京戦・3月21日(A)
●0-1 後半に一瞬のすきを突かれて失点。初黒星を喫する。



第4節千葉戦・4月5日(H)
○1-0 試合終了間際にMF秋葉が決勝点。本拠地初勝利。



第6節G大阪戦・4月17日(A)
●1-2 MF金が先制点を奪うも逆転負け。猛攻に屈する。



第7節鹿島戦・4月25日(H)
△1-1 FW長谷川のゴールで引き分け。Jリーグ王者から勝ち点奪取。



第8節大宮戦・4月29日(A)
○3-0 FW長谷川、FW古橋の2トップが躍動。サイド攻撃で圧倒。



第9節柏戦・5月2日(H)
△0-0 決め手を欠くも堅守が光る。ホーム不敗記録を伸ばす。



第10節神戸戦・5月5日(A)
●1-3 ミスから自滅し大量失点。FWジャジャが一矢報いる。

第11節新潟戦・5月9日(H)
●0-1 ゴールが遠く隣県ダービーで惜敗。ホーム初黒星。

◀ 第1節磐田戦・3月7日(A) ○6-2 終盤のゴールラッシュで大勝。敵地で歴史的白星を飾った。

すべてのシーンに意味があった。

第12節

第12節広島戦・5月16日(A)
●1-3 前半だけで3失点。見せ場少なく3連敗。黒星先行。



第13節京都戦・5月23日(H)
△0-0 守備陣の踏ん張り。引き分けに持ち込み連敗ストップ。



第14節清水戦・6月20日(A)
●1-4 1カ月ぶりに再開されたリーグ戦。試合開始早々に失点し完敗。



第15節川崎F戦・6月28日(H)
●0-1 終了間際に痛恨の失点。相手ゴールを脅かしながら一撃生まれず。



第16節浦和戦・7月4日(H)
●2-3 今季最多2万人の観客の前で激戦。主審の微妙な判定に泣く。



第17節横浜M戦・7月11日(A)
○2-1 途中加入のDF西河がデビュー戦でゴール。DF小原の逆転弾で9試合ぶりの白星。



第22節F東京戦・8月19日(H) ○1-0 第3節で敗れた雪辱を果たす。5月以来の無失点。▶



第18節磐田戦・7月19日(H)
○3-1 18本のシュートを浴びせ快勝。ホームで約3カ月ぶりの勝利。



第19節新潟戦・7月26日(A)
△1-1 後半43分にFW長谷川が同点弾。少ない好機を生かす。



第20節G大阪戦・8月2日(H)
△1-1 GK清水が好セーブを連発。前節に続き貴重な勝ち点1を獲得。



第21節京都戦・8月15日(A)
●0-1 FKから決勝点許す。見せ場つくれず5試合ぶりの敗戦。



第23節

第23節川崎F戦・8月23日(A)
●0-2 防戦一方の展開。前半に連続失点しゲームプラン崩壊。



第24節広島戦・8月30日(H)
●1-2 後半に追い付く粘りを見せるもミスから決勝点を献上。



第25節浦和戦・9月13日(A)
●1-4 2失点後に1点を返すも勢い続かず。今季2度目の4失点。



第26節清水戦・9月19日(H)
●0-1 清水の守備網が破れず。上位陣を相手に今季初の4連敗。



第27節千葉戦・9月26日(A)
○2-1 「直接対決4連戦」の初戦。FW長谷川が通算10得点の大会に躍る。



第28節大分戦・10月3日(H)
△0-0 最下位大分に劣勢の展開。守備陣が耐えてドロー。



第33節名古屋戦・11月28日(A) ●0-2 守勢に回り攻撃不発。完敗も16位柏が引き分け残留が決まった。▶



第29節神戸戦・10月17日(H)
○1-0 FW古橋が値千金の先制点。2試合連続完封で13位浮上。



第30節柏戦・10月24日(A)
○1-0 降格圏16位のライバルを退ける。MF宮沢の得点を守り抜く。



第31節鹿島戦・11月8日(A)
●0-2 まさかのシュートゼロで完敗。力の差を見せつけられる。



第32節大宮戦・11月21日(H)
△0-0 攻撃の糸口見つからず。ゴールが遠く残留決定持ち越し。



モンテがJ1残留

山形新聞 11月29日

0名古屋に柏分け決定

(サポーターに感謝) 宮沢選手

裁判員裁判 判決

あなたの応援が、

Montedio

をさらに強くする!

モンテ詳細はホームの山形新聞で...

ご購入のお申し込み

0120-81-8040 (9-17時)

携帯サイト

http://yamagata-np.jp/k

ホームページ

http://yamagata-np.jp